

広報

7の7

2008
No. 654

目指せ明日のアスリート。

■水泳の第一人者と交流

7月1日、シドニーオリンピック水泳銅メダリストの田中雅美さんが黒坂小学校を訪れ、児童に水泳指導を行いました。

(関連記事：11ページ)

地域情報化住民意向アンケート

集計結果をお知らせします

町では、携帯電話が通話できない地域の解消や高速インターネット環境の提供、ケーブルテレビなどの「地域情報化」について、まちの皆さんの実情や意見を参考にするため、3月に「地域情報化住民意向アンケート」を、「地上デジタル放送移行対応状況調査」とあわせて行いました。

先月号では「地上デジタル放送移行対応状況調査」の集計結果をお知らせしました。

今回は、「地域情報化住民意向アンケート」の集計結果をお知らせします。

地域情報化住民意向アンケート

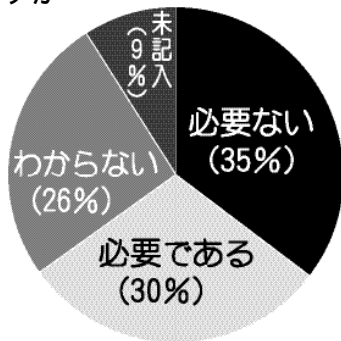
町内全世帯数 1549

調査票配布数 1348

回収総数 1238 (回収率92%)

ケーブルテレビは、各家庭にケーブルを引き、毎月使用料を支払って幅広い番組を受信するもので、テレビのほか、高速インターネットやIP電話(町内無料)も利用できます。

日野町にケーブルテレビは必要ですか



必要ない理由(主なもの)

今のままでよい(27%)、費用が負担となる(26%)、町財政を考慮(22%)

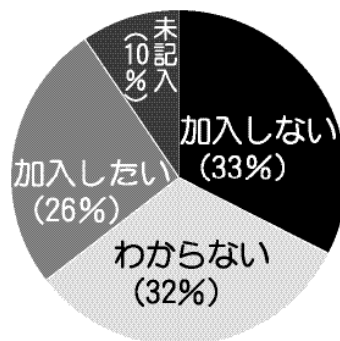
必要な理由(主なもの)

町の発展・将来のため(33%)、インターネットの利便性(23%)、情報を得る手段として(17%)

ケーブルテレビに 仮に整備した場合、加入金や月々の利用料の支払いが不安となり、また、すでに衛星放送での多チャンネル受信や高速インターネットサービス(ADSL)を受けている人にとっては、あまり必要と感ぜない人が多いようです。

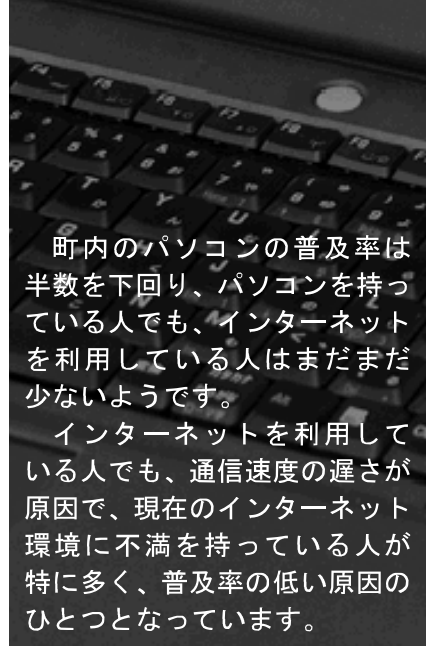
ケーブルテレビを整備し、仮に次の加入金・月額使用料で運営した場合加入しますか

(例) 加入金・工事金 約9万円(加入時1回のみ)
月額基本料金 2,940円(別にNHK受信料が必要)
チャンネル数 39チャンネル(希望により有料チャンネルを追加)



ケーブルテレビのパフレットの金額を参考にしました。

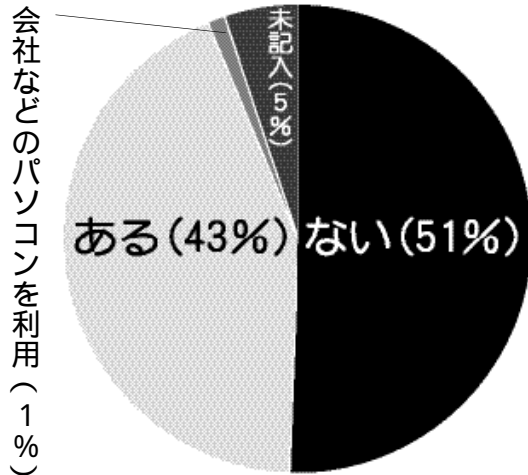
インターネット についでに



町内のパソコンの普及率は半数を下回り、パソコンを持っている人でも、インターネットを利用している人はまだまだ少ないようです。

インターネットを利用している人でも、通信速度の遅さが原因で、現在のインターネット環境に不満を持っている人が特に多く、普及率の低い原因のひとつとなっています。

自宅にパソコンがありますか

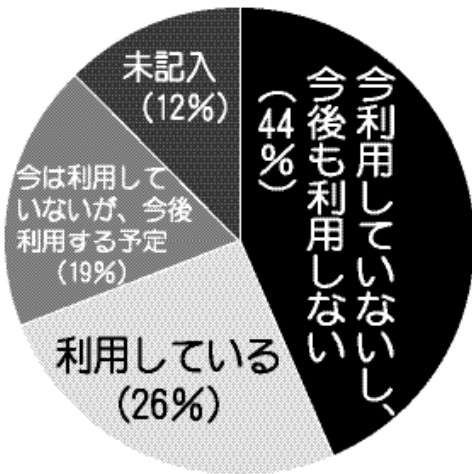


自宅のパソコンの台数は何台ですか

1台 (66%)
2台 (20%)
3台以上 (10%)
未記入 (4%)

会社などのパソコンを利用 (1%)

自宅でインターネットを利用していますか



インターネットを利用している人のうち、接続方法はどれですか

- ISDN (32%)
- アナログ電話回線 (31%)
- ADSL (21%)
- 携帯電話やPHSでの定額パケット通信 (8%)
- 未記入 (7%)
- その他 (1%)

インターネットを利用している人のうち、現在のインターネット環境に満足していますか

満足していない (62%)

満足していない理由

- 現在の通信速度が不十分 (71%)
- 通信費用が高い (24%)
- その他 (4%)
- 未記入 (1%)

満足している (38%)

満足している理由

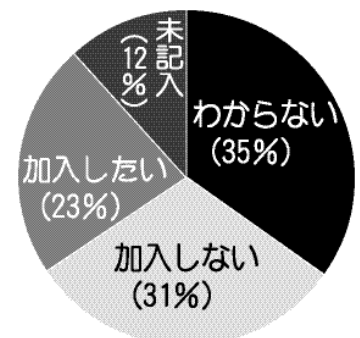
- 現在の通信速度で十分 (67%)
- 通信費用が安い (20%)
- その他 (8%)
- 未記入 (5%)

ケーブルテレビを整備した場合、高速でより安いインターネット(ブロードバンド)が使えるようになりますが、あなたは加入しますか

(例) 月額利用料金

3,300円 (128Kbps) ~ 6,000円 (30Mbps) 程度
全家庭に光ケーブルを引いた場合には、
月額利用料金

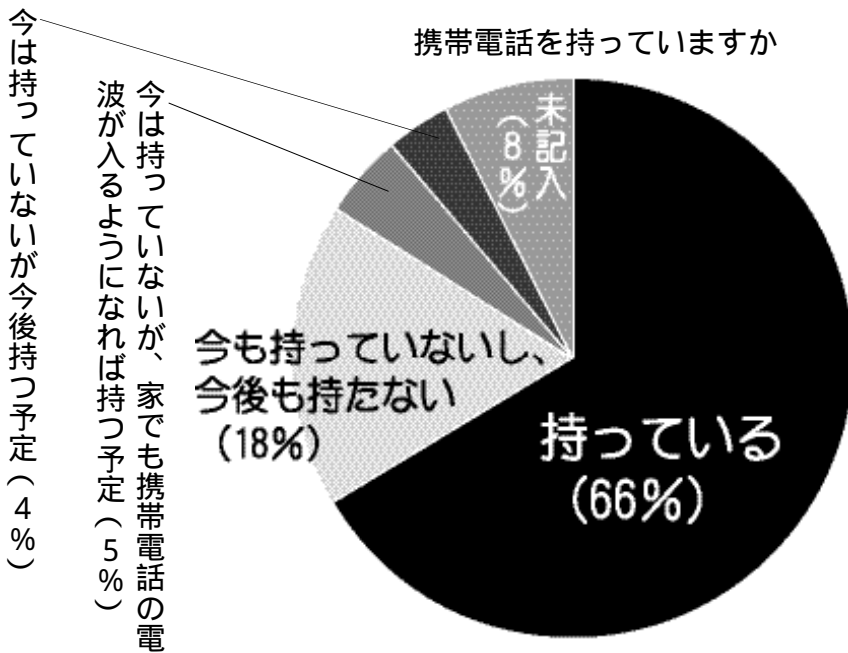
4,000円 (1Mbps) ~ 6,000円 (100Mbps) 程度
(別途加入金などが必要。ケーブルテレビと同時加入で1,000円程度割引になります)



例として示したケーブルテレビについての金額



携帯電話を持っていますか



今は持っていないが、家でも携帯電話の電波が入るようになれば持つ予定 (5%)
 今は持っていないが今後持つ予定 (4%)

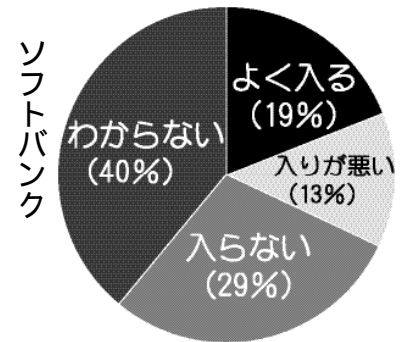
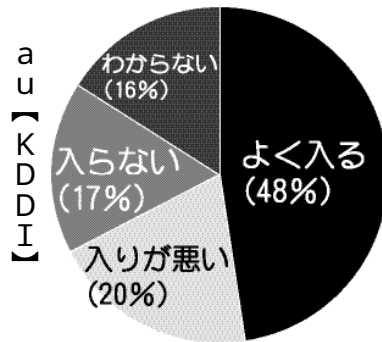
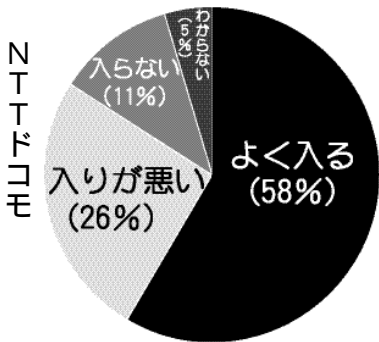
町内の携帯電話の普及率は6割を超えていますが、いまだに電波の入らない地区があり、持ちたくても持てない状況も発生しています。

また、携帯電話を持っていても、自宅の電波状態が悪く、不便に感じている人も少なくありません。

持っている携帯電話のメーカーはどこですか

- NTTドコモ (68%)
- au【KDDI】(25%)
- ソフトバンク (7%)

自宅での携帯電話が入る状況は



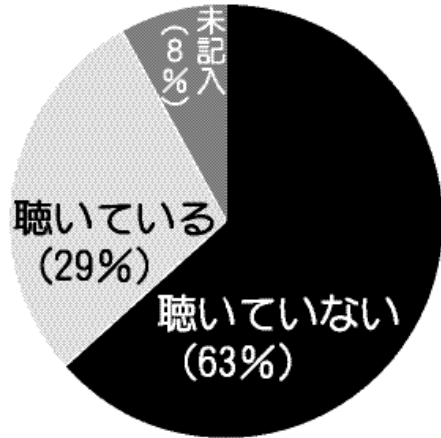
日野町内で携帯電話が使えなくて不便な地区はどこですか (回答の多かった地区を掲載)

- 金持 (46件)
- 真住【濁谷、秋縄、横路、門谷、門、三栗、三土】(45件)
- 板井原 (43件)
- 久住 (34件)
- 中菅【中菅、岡、追原、近江、畑】(28件)
- 下榎 (23件)
- 高尾【高尾、後谷、小吹、倉谷】(22件)
- 奥渡【榎市、小原、別所】(22件)
- 福長【久谷、漆原、諏訪、下福長、井ノ原】(19件)
- 小河内【小河内、布瀬谷】(18件)
- 上菅【上菅、長行岸、下上菅、荒神原】(18件)

ラジオ放送について

災害時に力を発揮するラジオですが、放送局の電波状態について「入りが悪い」と答えた人がどの局でも一番多く、「ラジオ離れ」が進む原因のひとつになっていると思われます。

自宅でラジオを聴いていますか



聴いている理由(主なもの)

- ・ラジオ体操・夜眠れないとき聴く・プロ野球中継・国会中継・音楽番組・地震のとき役立った・好きな番組がある

聴いていない理由(主なもの)

- ・電波状態が悪い・テレビの情報で十分・聴く時間がない・カーラジオはよく聴くが家では聴かない

自宅のラジオの入り具合は(上位3位まで掲載)

NHK第1	入りが悪い(28%)、よく入る(22%)、わからない(14%)
NHK第2	入りが悪い(28%)、わからない(16%)、よく入る(12%)
山陰放送	入りが悪い(33%)、わからない(14%)、入らない(13%)
NHK FM	入りが悪い(23%)、よく入る(18%)、わからない(15%)
FM山陰	入りが悪い(24%)、わからない(16%)、入らない(16%)

地域情報化について(総合)

町の地域情報化について、どの事業に一番に着手すべきでしょうか

- 地上デジタル放送への移行対応(35%)
- 携帯電話が通話できない地区の解消(26%)
- ラジオの受信地域の拡大(7%)
- ケーブルテレビの導入(7%)
- 高速インターネット網の整備(5%)
- その他(1%)
- 未記入(21%)

町の財政状況を考えると、地域情報化事業はどう位置付けるべきでしょうか

- 地域情報化より財政再建が一番(32%)
- 住民負担してまでする必要なし(25%)
- 医療・福祉・教育など別の事業を優先(22%)
- 財政再建より地域情報化を最優先(12%)
- 住民負担してでもする必要がある(7%)
- その他(2%)

その他の主な意見・要望

- ・ケーブルテレビについて
- ・こういう環境が整えば地元離れが防げると思う
- ・財政難のこの時期には難しいと思うが、少しずつでも資金を貯め、数年後には実施してほしい

インターネットについて

- ・衛星を使ったネット整備はできないか。災害時にも大きな役割を果たすはず。国の補助など得ることができないだろうか
- ・高速で使えないと都会からの移住者も企業も進出してくれないと思う
- ・黒坂地区と根雨地区のネット環境が違いすぎる
- ・日野町に住みながらインターネットビジネスも可能になる。早く整備を

携帯電話について

- ・つながらない地区を早くなくしてほしい
- ・防災にも役立つので町内全域で使えるようにしてほしい
- ・高齢者ばかりの山間部で、災害時は命綱にもなり得る。国民皆同じ料金なのに不便を強いられるなんて差別としか言いようがない
- ・高齢者にも使いやすいものがほしい
- ・ラジオについて
- ・災害時の一番の情報源であるラジオの難聴を一番に解決してほしい
- ・地域情報化について
- ・自然豊かな日野町に住みながら都会の利便性に勝る暮らしがしたい。そのため地域情報化は必要
- ・住民に多くの負担を求めたまで必要があるのか
- ・財政難はよく分かるが、地域情報化は必要不可欠。田舎だからこそ整備が必要

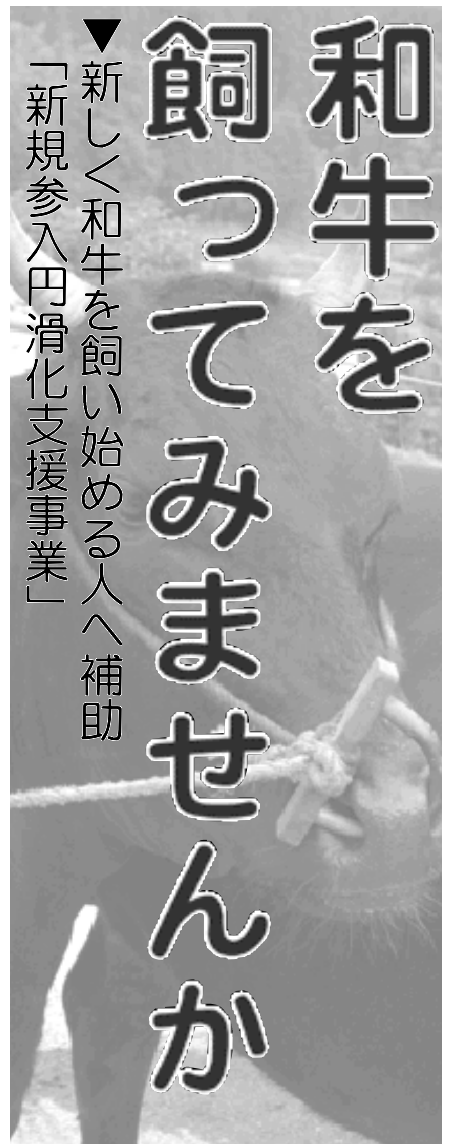
地上デジタル放送については、現在、下榎地内に中継局(中日野局)が建設中で、9月に試験放送、10月に本放送が始まる予定です。すでに施設の改修が必要と思われる共聴組合の皆さんと連絡調整し、まずは放送開始後の電波受信点調査から進めていきます。

また、携帯電話の不感地区解消については、県がインターネットによる携帯電話エリアの要望を受けており、5月15日現在で611件のうち日野町からの要望が137件と、一番多く寄せられています。

その成果もあつてか、現在、本郷や濁谷地内で携帯電話事業者による鉄塔整備計画が進められています。今後も、事業者による鉄塔整備を推進していただくよう、県と連携して、国や携帯電話事業者に働きかけていきます。

インターネットは、根雨地区の一部ですすでに事業者によるADSLによる高速化環境が整っています。また携帯電話でもインターネットが利用できるなど、情報化環境は日々進歩しています。

今回のアンケート結果を参考に、また将来の情報化技術の動向も見据えながら、地域に必要な情報化施策を検討していきます。ご協力ありがとうございました。



日野町では昔から和牛が飼われ、「日野牛」の産地として有名でした。昨年鳥取県で開かれた「第9回国和牛能力共進会」では、鳥取県代表として日野町からも3頭の牛が出品され、優秀な成績を収めました。しかし、最近では和牛を飼う生産者や、飼われている牛の数も減っているのが現状です。畜産振興のため、町では、新しく和牛を飼い始める人に助成を行う事業を、県の補助を受けて行うことになりました。

新規参入円滑化支援事業

事業実施主体 新しく和牛繁殖経営を始める人(新規参入者)

事業内容 施設整備事業 = 新規参入者が畜舎、堆肥舎などの家畜飼養管理施設などを自ら整備する事業
雌牛導入 = 新規参入者が和牛繁殖雌牛を自ら導入する事業

補助率 いずれの事業も 1/2

問合せ 役場産業振興課 (電話 72-2101)

久住放牧場に入牧



6月17日、久住放牧場に牛が放牧されました。

牛たちは、10月まで新鮮な草を食べてのびのびと育ちます。

放牧場は見学もできますので、希望する人は役場産業振興課(電話72-2101)までお問合せください。

水田放牧にも補助制度があります

～水田に和牛を放牧するための牧柵、給水施設などの整備に1/2を補助～

県内でも、耕作放棄地の草刈り作業の省力化、景観形成を目的に、新しく集落で和牛を飼って水田に放牧している集落があります。

水田に和牛を放牧することで農地保全になるほか、耕作放棄地がイノシシの巣になることも防ぐことができ、獣害対策にも効果があるとされています。

問合せ 役場産業振興課(電話72-2101)
または、
JA鳥取西部日野営農センター
(電話72-0338)

被害金額の一部を支払い 「振り込め詐欺救済法」が できました

振り込め詐欺による
財産的被害の回復を

家族や役所の職員などに成
りすまし、言葉巧みにお金を
振り込ませる振り込め詐欺。
最近はその口がさらに巧妙・悪
質化し、全国で被害が後を絶
ちません。

このたび、振り込め詐欺の
被害にあった人の財産的被害
を回復するため、「犯罪利用
預金口座等に係る資金による
被害回復分配金の支払等に関
する法律（振り込め詐欺救済
法）」が成立し、6月21日に施
行されました。

振込先の金融機関が
被害回復分配金を支払い

振り込め詐欺救済法により、
金融機関が振り込め詐欺など
でお金が振り込まれた預金口
座の取引停止などの措置をと
ることができず。その後、
被害にあった人から被害回復

掲載されます。

支払手続きは
振込先の金融機関へ

分配金の支払いの申請を受け
付け、金融機関が分配金を支
払うこととなります。

被害回復分配金の支払額は、
被害額そのものが支払われる
わけではなく、口座の残高に
対する被害額の割合などに応
じて変わります。

対象となる振込先口座は、
預金保険機構のホームページ
(<http://www.dic.go.jp>)に

被害回復分配金の支払いを
受けるためには、振込先の金
融機関へ「申請書」「本人確認
書類」「振込みの事実を確認で
きる書類」を持参し、手続き
してください。

なお、申し出ても分配金の
支払対象にならない場合もあ
ります。

具体的な手続き方法など
詳しくは、振込先の金融機
関にお問合せください。

救済までの流れ

被害にあった人が警察と金融機関に申し出る

預金保険機構が犯罪に利用された口座の公告
をホームページ (<http://www.dic.go.jp>) に
掲載する

被害にあった人が、自分が振り込んでしまっ
た口座がないか確認する

預金保険機構が被害回復分配金支払いを受け
付ける公告をホームページに掲載する

被害にあった人が振込先の金融機関に支払い
を申請する

金融機関が被害回復分配金を支払う



お寄せします 提案箱

『提案箱』に寄せられたご意見・
ご提案の一部を紹介します

ごみ減量化へ取り組みを

(町内の人からのご意見)

現在、町が収集している不燃ごみには、卵の
パックやお菓子の袋、弁当の容器などのプラス
チック製品は含まれておらず、はさみで切れる
物はすべて「燃えるごみ」として出すことになっ
ています。もうそろそろリサイクルの対象として
住民全体に呼びかけてもいいのではないでしょ
うか。

また、いろいろな紙類をみんな燃やすのでは
なく、チラシなどといっしょにリサイクルに出
して、ごみを減らすことも大切なのではないで
しょうか。

(町産業振興課からの回答)

ご意見ありがとうございます。

指摘いただいたプラスチック製品のリサイクル
については、「平成 20 年度ごみ収集カレンダー」
10 ページに記載していますとおり、来年度から R
P F (軟質プラスチック・木くず・布類) を分別
収集し、工場の燃料として再利用することとし
ています。なお、今年度は試行的に布類のみ収集を
行っています。

古紙の収集については、新聞・チラシ・雑誌だ
けでなく、封筒やはがき、名刺などの小さな紙も、
封筒に入れたり新聞に挟み込んで出していただ
くとリサイクルできます。「ごみ収集カレンダー」11
ページで詳しく説明していますのでご覧ください。

まちへのご意見・ご提案などなんでも提案箱へお寄せください。寄せられたご意見の一部と回答を紙上でご紹介します

提案箱の設置場所 = 町役場、役場黒坂支所、根雨および黒坂郵便局

夕涼みコンサートのご案内

日野病院を支えてくださる地域の皆さん、
患者の皆さんへ、癒やしのひとときを
お届けします。どうぞお越しください
(当日は、冷たい食べ物をご用意しています)

日時 7月25日(金) 午後7時～
場所 日野病院 正面ホール

日野高校教諭の石黒信行さん(チェロ)、
稲田真司さん(フルート)、半那有美子さん
(キーボード)による演奏をお楽しみください



昨年のコンサートの様子

問合せ 日野病院 (電話 72-0315)

まちの介護予防だより 連載

役場健康福祉課 (電話 72 0334)

カラダとココロの

介護予防

高齢者の虐待を防ぐ

近年、高齢者が親族などから暴力を受ける「高齢者虐待」が大きな社会問題となつていきます。

皆さんは、高齢者虐待の早期発見、早期対応を図り、家族、親族など高齢者の養護者を支援する「高齢者虐待防止法」(平成18年4月施行)を知っていますか。

高齢者虐待は「身体的虐待」「心理的虐待」「性的虐待」「経済的虐待」「介護・世話の放棄・放任」などを虐待としていいます。国が調査した結果、虐待の原因は、介護疲れや人間関係などが多くなつており、長年の介護疲れやストレス、介護

者の孤立などが原因で、言葉の暴力や介護の放棄につながる、虐待が起こつてしまうこともあります。

虐待の行為は、加害者自身が気づかなかつたり、高齢者自身が遠慮をしたりして、実態が分かりにくいことがあります。

高齢者虐待防止法では「虐待を受けたと思われる高齢者を発見した人は市町村に通報するよう努めなければならぬ」と定められています。

皆さんの周りで虐待の疑いを感じたら、日野町地域包括支援センター(電話72 1852)まで連絡ください。各種関係機関と連携して相談支援など必要な対応を行います。介護の悩みなど一人で抱え込まずに、相談ください。

身体的虐待
(身体を傷つける暴行を加える)
例えば...たたく・つねる・けるなど

心理的虐待
(暴言や心理的に傷つける)
例えば...怒鳴る、ののしる、悪口、排せつ
の失敗に対して恥をかかせるなど

性的虐待
(わいせつな行為をしたり、させたりする)
例えば...下半身を裸にして放置、キス、
性的行為を強要するなど

経済的虐待
(高齢者の財産を不当に使う)
例えば...必要なお金を渡さない、使わ
せない、年金や貯金などを本人の意思
に反して使うなど

介護・世話の放棄、放任
(衰弱させるような減食、食事の世話
をしない、養護を怠る)
例えば...栄養失調の状態にある、劣悪
な環境の中に放置など

まちの話題

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで（電話7210332）



公園に住むカモ（左）も作業を見学？

人海戦術で一気に除草

カワコふれあい公園一斉清掃

カワコふれあい公園（黒坂）を住民の手できれいにしようと、6月15日、黒坂地区連合区会（和田佳洋会長）と公園管理委員会（恩田孝雄委員長）主催の一斉清掃作業が行われました。

今回の作業には、地元ボランティアのほか、町・卓の職員ら100人以上が参加し、公園内のスポーツ広場周辺の草取りや、河原の草刈りを行いました。

多くの人の参加により予定時間よりも早く作業が完了し、すっきりとした公園に生まれ変わりました。

今年もたわわに実る

セルサル久住さくらんぼ狩り

6月16日、久住のさくらんぼ園、セルサル久住でさくらんぼ狩りが行われました。

これは、経営者の稲田克忠さん（高尾）が、大きく実ったさくらんぼを味わってもらおうと、町内の保育所園児と高齢者福祉施設の入所者を招待したものです。

約0.5ヘクタールの園内では、佐藤錦などのさくらんぼの木150本が栽培されており、招待された園児らは赤く実ったさくらんぼを摘み取って試食、「甘くておいしい」と口々に話しながらたくさん収穫していました。



摘んで味わって、大満足の園児たち

地域の力で公園整備

滝山公園草刈り作業

まちの大きな観光地で、ツツジの名所としても知られる滝山公園（中菅）のボランティアによる草刈り作業が、6月21日と7月5日の2日間にわたって行われました。

作業に参加したのは、地元住民のボランティアや県・町職員ら延べ約120人。21日は雨の中、5日は猛暑の中という悪条件での作業でしたが、効率よく作業が進められ、遊歩道や公園駐車場周辺、花座敷やお勝が池周辺などの散策コース周辺が見違えるようにきれいになりました。



多くの人出で一気に除草

地元の音楽家たちの祭典

日野川音楽祭

日野川沿いで活躍する音楽グループが集まり演奏を披露する日野川音楽祭が、6月22日、町文化センター・ホール森の音楽隊で開かれました。

今回で第12回となるこの音楽祭には、ジャズ、ロック、ゴージャス、大正琴など、さまざまなジャンルの音楽グループ全11組が出演し、多彩なステージを繰り広げました。

舞台のフィナーレは、恒例の町民歌「きらりこの町」の合同演奏。音楽祭を華やかに締めくくりました。

また、ホワイエでは、出演者らによるバザーも行われ、野菜や不要品、古着などが販売されていました。



客席とひとつになって町民歌「きらりこの町」を

ちゃんと食べよう朝ごはん

朝食キャンペーン

食に関する知識と、食を選ぶ力を身に付けるための「食育」を進めるため、「食育の日」である6月19日、町食生活改善推進協議会（佐々木高子会長）の会員や県職員らによる朝食キャンペーンが、ひのっこ保育所（津地）で行われました。

会員らは、保育所帰りの園児と園児を迎えにきた保護者に朝食についてのパンフレットを配ったり、「朝ごはんを毎朝食べてますか」など声をかけ、朝食の大切さについて訴えかけました。



園児たち一人一人に声かけ



ひのっこ保育所では、園児に手遊びを指導

働くってたいへんだ

日野中学校職場体験

実際に事業所などで働く体験を通して、働くことの意義を学ぼうと、6月23日から25日までの3日間、日野中学校2年生の生徒45人が職場体験学習を行いました。

今回は、病院やコンビニエンスストア、警察署やガソリンスタンドなど、町内を中心としたさまざまな種類の17事業所で仕事を体験しました。

黒坂警察署で学習した安達柚香さん、長尾彩加さん、矢田貝春奈さんは、「白バイなどを見学したり、指紋を採取したり、駐在所を見学したりしました。駐在所では、地域のパトロールや道案内、落し物の処理など、仕事が多くあってたいへんだと思いました」と感想を話していました。

子どもたちの笑顔に感動

町民ミュージカルに寄附金

ミュージカルを通した子どもたちの健全育成に役立ててほしいと、鳥取県西部軟式野球連盟（高橋精一会長）ほか有志の皆さんが、日野町民ミュージカル実行委員会（田口享実行委員長）に寄附金を贈り、6月26日、町役場で贈呈式が行われました。

発起人の吉島潤 承さん（米子市）は、「これまで3回町民ミュージカルを観て、子どもたちが笑顔で頑張っている姿に感動しました。学校の合間に時間を割いて練習を重ねてきたことを次の子どもたちにも伝えていってほしい」と話しました。

今年の町民ミュージカルは、11月23日、町文化センターで上演されます。



高橋会長から寄附金を受け取る田口実行委員長（中央）



凝固剤を入れた油を容器に注いで、固まれば完成

意外と簡単、やさしい明かり

商工会女性部廃油ろうそく作り

6月26日、町商工会女性部（塚川美智子部長）による、使用済みの食用油を使ったろうそく作りが、町商工会館（根雨）で行われました。

これは、昨年のお盆に行って好評だった、根雨のまちに灯ろうを設置する企画を今年も行い、灯ろうに灯するろうそくを手作りしようという計画されたもの。講師に、鳥取県環境学習アドバイザーの向井哲朗さん（米子市）を迎え、油に凝固剤を入れて簡単にできるろうそくの作り方を教わりました。

この手づくりのろうそくは、8月13日から15日までの夜間、根雨のまち中に設置される約200個の灯ろうの中に灯され、まちを彩ります。

明るい社会を目指そう

社会を明るくする運動

7月の「社会を明るくする運動 強調月間」に合わせ、7月1日、町内の関係者らによる街頭啓発活動が行われました。

根雨駅では、登校する高校生らにパンフレットなどを手渡し、「非行のない明るいまちをつくりましょう」と呼びかけました。

社会を明るくする運動は、犯罪・非行の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会をつくるための全国的な運動で、各地でさまざまな啓発活動が行われています。



一人一人にあいさつと呼びかけを

水と親しむ楽しさを体験

元五輪選手、田中雅美さん来町

子どもたちにスポーツの楽しさを伝えようと、7月1日、元水泳オリンピック選手の田中雅美さんが黒坂小学校を訪れました。

田中さんは北海道出身。アトランタ、シドニー、アテネオリンピックに水泳平泳ぎで出場し、シドニー大会の400メートルメドレーリレーで銅メダルを獲得しました。

田中さんは、児童たちにオリンピック出場時のエピソードなどを話し、また、「メダルがとれたのはリレーの仲間たちのおかげ。皆さんも周りの友達を大切にしてほしい」と訴えました。

そのあとはプールで田中さんによる水泳指導が行われ、児童たちは水と親しむ楽しさや泳ぎ方のコツなどを教わっていました。



「人に自分の夢を話すのはいいこと」と話す田中さん



目指すは全国大会出場

小型ポンプの部で準優勝

県西部消防ポンプ操法大会

県西部の消防団による、消防ポンプ操法の機敏さなどを競う、第50回県西部消防ポンプ操法大会（県西部消防協会主催）が、7月6日、県消防学校（米子市）で開かれました。

競技は、消防ポンプを使って放水し、その動作の正確さや速さなどを競うもの。今回は、消防ポンプの部に8隊、小型ポンプの部に2隊が出場し、日野町消防団からは、小型ポンプの部に第1分団の5人の選手が出場しました。

第1分団の選手は、素早く丁寧な動作で見事な操法を披露、準優勝となりました。選手らは、7月20日に鳥取市で開かれる第54回県消防ポンプ操法大会に出場します。

求人力アップに「広報ひの」を利用してください
～求人情報掲載事業所を募集しています～

「広報ひの」では、求人募集を行っている町内の事業所を紹介していきます。事業所の写真や募集内容、コメントなどを掲載する予定です。掲載を希望する場合は、毎月25日までに役場企画政策課（電話 72-0332）までお申込みください。申込みの翌月の「広報ひの」に掲載する予定です。

毎月勤労統計調査 特別調査にご協力を

厚生労働省では、7月31日現在で常用労働者を1〜4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を行います。

これは、1〜4人規模事業所における賃金や労働時間、労働者数の動きを明らかにする大切な調査です。調査対象となる事業所には、7月下旬から8月上旬にかけて統計調査員が訪問して調査を行います。

調査した内容は、統計を作るためにのみ使われますので、ご協力いただいた皆さんに迷惑をかけることは絶対にありません。調査の大切さを理解いただき、ご協力くださいませようお願いします。

消防職員採用試験

募集職種 消防吏員4人程度
応募資格 昭和56年4月2日以降に生まれた人

試験日程 第1次試験(教養試験・体力試験・消防適性検査) 9月21日(日) 第2次試験(面接試験・作文試験・健康審査) 10月下旬
採用予定 平成21年4月1日
申込期間 8月13日(水)〜8月28日(木) 郵送の場合は8月27日(水)必着
申込みおよび受付場所 県西部広域行政管理組合 消防局総務課(電話0859 351951)

放送大学10月入学生募集

放送大学は、テレビで授業を行う通信制の大学です。働きながら学びたい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、幅広い世代、職業の人が学んでいます。

現在、平成20年度第2学期(10月入学)の学生を募集しています。詳しい資料を送付しますので、お気軽にお問合せください。

募集学生の種類
教養学部 科目履修生(6か月在学し、希望する科目を履修)、選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)、全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)
大学院 修士科目生(6か月在学し、希望する科目を履修)、修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)
受付期間 8月31日まで
資料請求(無料)・問合せ先 〒690 0061 松江市白潟本町43番地ステイックビル4階
放送大学鳥根学習センター(電話0852 285500)
放送大学ホームページ
<http://www.u-air.ac.jp>

介護基礎講座のご案内

米子市社会福祉協議会では、介護の基礎知識・技術を学ぶための基礎講座を開きます。

日時 8月7日(木)
午前10時〜午後3時
場所 ふれあいの里(米子市錦町)
内容 「排せつのしくみとおむつの当て方」
受講費 無料
定員 先着30人(定員になりしだい締め切り)
申込先 社会福祉法人 米子市社会福祉協議会 西部地域介護実習普及センター(電話0859 235470)

教育委員会からのお知らせ

今後の事業などを報告

7月1日、第7回の町教育委員会を開き、報告や協議を行いました。

報告事項

生活体験合宿の開催について 7月29日から8月1日までの3泊4日、小学校4〜6年生の希望者を対象に行います。町公民館に宿泊し、学習やいろいろな体験活動を行います。

町青少年育成会街頭指導パトロールについて 小中学校の夏休み期間中に、青少年育成会会員による夜間街頭指導パトロールを行います。

教育委員会事務局の事務分担について 7月1日付の人事異動により、事務分担の見直しを行いました。

協議事項

少人数学級編成にかかる協力金について 小中学校における少人数学級の教育



昨年の生活体験合宿の様子

的效果は高く、継続していくため国や県に予算的配慮をお願いしたい。財政格差が教育格差につながらないようにしてほしい。

第7回町民ミュージカル 「この地球に生まれて～希望のたすき～」

日野川に住む河童と、出雲街道を駆け抜ける
歴史のランナーが登場する物語。
ただいま練習の真っ最中です。

公演日 11月23日(祝) 昼・夜2回上演

「町民ミュージカルを応援する100人の会」会員募集
町民のミュージカルを応援し、その活動の芽を育て、大きく花開かせようという会です。ぜひご入会ください。

会費 一口3000円以上

特典 公演当日のチケットを1枚(昼・夜いずれか)を進呈
「みゅーじかる通信」などで練習の成果をお知らせ
公開レッスン・リハーサルの見学

申込み・問合せ 日野町民ミュージカル実行委員会
(町文化センター内 電話72-1300)

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1484

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図書館の展示コーナー

角田敦子さん 布絵の世界

8月1日(金)～30日(土)

図書館おはなし会

8月23日(土)10:00～

場所：図書館絵本コーナー
海の絵本、おはなし、わらべうたなど
(参加無料)

サイエンスアカデミー講座

8月23日(土)10:30～

場所：図書館郷土資料コーナー
テーマ：「温泉水・地下水変化と地震予知」
講師：西田良平さん(鳥取大学名誉教授)

木のおもちゃづくり

8月24日(日)9:00～

場所：山村開発センター
「オリジナル時計」をつくろう
講師：若林孝典さん(要材料費)

町歴史研修会公開講座

8月27日(水)10:00～

場所：山村開発センター
テーマ：「出雲街道根雨宿総集編」
～人物について～
講師：川上 護さん

お芝居くらぶさん・ふいーると公演

SETSUNA TO SOLA

～せつなとそら～

日時 8月2日(土)19:00～

3日(日)14:00～

(開場はいずれも30分前)

会場 町文化センター/ホール森の音楽隊

料金 小学生以上前売500円(当日高校生以上800円)

チケットは町図書館で取り扱っています



町歴史民俗資料館特別展

昔なつかし写真展

～ふるさとの思い出～

昭和15年に建てられた日野郡の文化の殿堂、根雨公会堂(現町歴史民俗資料館)の建築写真と明治・大正・昭和の日野町の昔なつかし写真を展示します。

日時 8月15日(金)～17日(日)9:00～16:00

場所 町歴史民俗資料館(期間中入館無料)

主催 歴史民俗資料館友の会・日野町教育委員会



図書館活用セミナー

～情報を活用して仕事や趣味に生かそう～

時間 = 13:30～15:30 場所 = 役場大会議室

対象 = 一般利用者、行政職員(入場無料)

講師 = 斎藤明彦さん(県自治研修所長)

小林隆志さん(県立図書館支援協力課長)

主催 = 日野町図書館、鳥取県立図書館

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



多くの子どもたちでにぎわいました

6月11日から25日までの15日間にわたり、移動博物館「恐竜の世界」を開きました。これは、鳥取県立博物館の「博物館がやってくる2008」と題し、社会教育や学校教育を支援する事業の一つで、プロトケラトプスの全身骨格（複製）をはじめ頭骨、爪の複製標本や模型など41点の資料を展示し、これまで明らかにならなかった恐竜の世界を紹介するものです。

目を輝かせる子どもたち 驚きと歓声に包まれた15日間 移動博物館「恐竜の世界」

の世界に大きな驚きと歓声を上げました。

県立博物館 企画展のお知らせ

ようこそ恐竜ラボへ！ ～化石の謎をときあかす～

会期 7月19日(土)～8月24日(日)
 会場 鳥取県立博物館(鳥取市東町)

恐竜標本をただ並べるだけではなく、日本人研究者がどのようにして恐竜化石を発掘し研究しよみがえらせるのか...

研究者がモンゴルから持ち帰った岩石から化石を取り出し、様々な手法で恐竜の真の姿を明らかにしていく過程をご覧ください。

夏休みはコレで決まり！ぜひ行ってみよう！



骨格標本などさまざまな資料で恐竜の世界を紹介



絵付けも丁寧に指導

子ども陶芸教室
 触れてみるのが大切
 日野町陶芸グループの皆さんを講師に、子ども陶芸教室を6月7日(形を作る)・21日(絵付け)・28日(作品渡し)の3日間の行程で開きました。
 参加した子どもたち一人一人に粘土が渡され、思い思いの形作りを行いました。粘土をしっかりとこねるところから悪戦苦闘。講師の皆さんの手を借りて、しっかりとこねることができました。また、「先生、ここはどういう風にしたらいいですか」と積極的に子どもたちが教わる姿もありました。
 色を付け、思い描いた作品に仕上げ、完成した物を出るの良さに満足した子、次はもうちょっとああしようこうしようと考えてる子それぞれあり、次の陶芸教室の開催を期待してくれました。

正しい理解で納得の制度利用を 第3回おしどり学園

6月20日、「後期高齢者医療制度について」と題し、役場健康福祉課の荒木憲男主任と役場住民課の景山政之主任による講演を行いました。

まず、荒木主任が制度の概要について説明しました。マスコミによるさまざまな悪いイメージばかりが先行している後期高齢者医療制度ですが、これまでの老人保健制度と同様の給付が受けられる点や、移送費の支給などの新しい内容について説明し、理解を求めました。

また、このままでは医療制度が崩壊してしまうことを説明し、一人一人が健康に気をつけ、早めの受診で医療費を抑えてほしいと強く訴えました。

景山主任は保険料について説明しました。日野町において後期高齢者医療制度の対象となる人は現在960人。学園生の関心が強い保険料の決まり方、保険料の納め方については、1人当たり平等にかかると「均等割」と所得に応じて決められる「所得割」をあわせて個人単位で計算され



身近なテーマに興味深く学習

ると説明しました。

保険料の納め方は、年額18万円以上の年金を受け取っている人は原則として年金から保険料が天引きされます。それ以外の人は納付書や口座振替などで個別に町に納めます。また、被扶養者だった人の保険料の軽減措置などもあります。資料で具体的な計算例などをを用いて分かりやすく説明し、学園生はこの制度を理解した様子でした。

質問では、「今後の保険料はどのようになっていくのか」「いつか国のお金がなくなるとどうなるのか」など活発な意見交換が行われました。

学園生以外の方も講演を聞きに来てください ～第5回おしどり学園のご案内～

日時	8月22日(金) 午前9時30分～
場所	町公民館
内容	心配蘇生とAED(自動体外式除細動器)について (講師の都合により変更することがあります)
問合せ	町公民館(74-0212)
その他	当日は町営バスを臨時運行します

グループ専門講座「健康」からお知らせ

おしどり学園グループ専門講座「健康」では、健康をテーマに、毎月あらゆる分野から講師を招き学習します。

8月は「セラバンド体操」について学びます。講師は町体育指導員高橋伸也さんです。学園生以外の方もお気軽に参加ください。お待ちしております。

子どもを守る

身近に起こる犯罪を認識しよう

子どもたちが巻き込まれる事件や事故は都会だけに限ったことではなくなりました。身近に起こりうる不安を秘めています。子どもの安全は地域全体で守っていくという考えが重要です。地域の人々の温かい「守りの目」と気配りで安全・安心なまちづくりを実現しましょう。

子どもが遭いやすい犯罪
誘拐・連れ去り(騙したり、誘惑して連れて行ったり、暴力や力づくで連れて行く)
脅迫・恐喝(脅されたり、脅されたうえにお金を取られます)

いたずら・わいせつ行為(性的道徳に反する行為)
幼児・児童虐待(叩くなどの暴力や無視、言葉の暴力、人権を無視した性行為など)

子どもに防犯のしつけを
自分自身で被害を防げるよう、日ごろから防犯の習慣を身につけさせましょう。

一人にならない 一人で遊んだり、一人で歩かないようにしましょう

外出時には行き先などを確認してから 外に行くときは、連れや行き先、目的、帰宅時間を言うてからにしましょう
知らない人にはついて行かない

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会事務局
(町公民館 電話74 0212)



知らない 何か言われてもついて行かない。連れ去られそうになったら「助けて」と大きな声を出しましょう
知っている人でもついて行かない 知っている人でも、家族の了解なく車に乗ったり、ついて行かないようにしましょう

こわいと思ったら、すぐ近くの家やお店に逃げ込む すぐに助けを求めましょう
こわいことがあったときは、大人に話す 知らない人に声をかけられたり、ついて来られたり危険なことがあったら大人に話しましょう

登下校には通学路を利用する 人通りの少ない道を歩かず、なるべく一人では登下校しないようにしましょう
友達が行かなくなったら大人に知らせる 友だちが知らない人に連れて行かれそうになったら、近くの大人に知らせましょう

登下校には通学路を利用する 人通りの少ない道を歩かず、なるべく一人では登下校しないようにしましょう
友達が行かなくなったら大人に知らせる 友だちが知らない人に連れて行かれそうになったら、近くの大人に知らせましょう

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



2008年部落解放人権尊重標語

入選作品決定
部落解放人権尊重標語を募集したところ、200点以上の応募がありました。

6月27日に下榎集会所で町長をはじめ、選考委員により厳正に選考し、次の25点が今年度の入選作品に決定しました。

入選者には賞状と記念品が贈られました。

入選作品 (敬称略)

【黒坂小学校】

なかよしのこころの花を
さかせよう (1年 高橋美里)
「ありがとう」さつと言える
あなたはすてき

(2年 恩田晃妃)
「ごめんね」であなたも
私もいい気持ち

(4年 久留馬夏海)
ふざけて言った一言で人
の心を傷つける

(6年 頭本龍大)
【根雨小学校】
おはようのこぼれごと

でみんなにっこり
(1年 中田和真)
「ごめんなさい」すつきり

したよ なかなあり
(1年 西村実梨)
「だいじょうぶ」やさしい

ことば うれしいな
(1年 西村沙梨)
思いやり 大事にしよう

たからもの (3年 平野大地)
やさしさは人と人とを
つなぐ糸 (3年 堀田恵)

体のきずは治るけど 心の
きずは治らない

(5年 松原成志)
「ありがとう」きみの心と
きみの笑顔 (5年 堀田潤)

たち切ろう いじめや差別
の心から (6年 松本美紀)

【日野中学校】
話し合い みんなでやめよ
身近な差別

(1年 西村佳敏)
人権は 幸せに生きる大
事な権利 (1年 長尾健太)

見て見ぬふり それもりっ
ぱな 加害者だ。
(2年 高橋真祐)

あいさつは 心と心の
キヤッチボール
(2年 伊田優太)

みんなある 小さな勇気は
大きな力 (2年 池未裕輝)

分かってる？ 自分の発言
他人のきもち
(2年 川上優太)

失えば 二度と戻らぬ尊
厳 (3年 広瀬詩乃)

【日野高等学校】
気づこうよ 心で泣いてる
人のこと (1年 山川朗紀)

認めよう 人の個性と
いところ (2年 足本舞)

今無くす 未来に残すな
差別の心 (3年 宮原京佑)

「空気読め」そんなことより
心読め (3年 井上裕友)

大事にしたい君のこと 大
事にされたい僕だつて
(3年 宇田川賢人)

変わらなきゃ 気付いた
貴方さあ 一歩
(3年 木村愛美)

入選作品は人権標語短冊や
カレンダーなどの啓発活動に
活用します。
また、来年は一般からの応募
もお待ちしております。

▼榎の実学習会

6月19日、中学生の地域
学習会では、長年解放運動
をはじめ地域の生活改善な
どに力を注がれた、石田数
義さんを講師に迎え、昔の
生活の様子や差別の現状な
どについて学習しました。
生徒たちは、メモをとる
などして熱心に聞きました。



地域の歴史を学びました

「第33回人権尊重社会を実現する
鳥取県研究集会」が開かれます
日時 8月7日(木)～8日(金)
会場 倉吉未来中心(倉吉市)
どうぞご参加ください。
問い合わせ 町教育委員会 (電話 72-2107)
下榎隣保館 (電話 72-1191)

8月の学習講座予定
■編み物 9日(土) 午後1時～
老人憩の家 (講師 安達利子さん)
■生け花 19日(火) 午後7時30分～
下榎集会所 (講師 生田清子さん)
▼日程など変更になることがあります。
詳しくは下榎隣保館へ▼どの講座も2
時間の予定です。お気軽に参加ください

人権のまちひの

2008年7月

人権と安全・安心な地域を目指して

～高齢者の人権について考えてみましょう～

日野町の平成20年6月末の総世帯数は1541世帯、総人口は4065人でした。この内、65歳以上の人口は1585人(38.99%)、また75歳以上の人口は932人(22.93%)となっています。

高齢者の多くの皆さんは健康で自立して暮らしておられますが、このまちが安全で安心して暮らせる地域であることが高齢者はもちろん、みんなの願いではないでしょうか。そこで、このような地域を「はぐくんでいくために、高齢者も含めて一人一人がどんなことに心がけ、どんな行動をしたらよいのかなど、今回は高齢者の人権を考えながら地域のあり方について考えてみたいと思います。

人権が尊重される社会とは

はじめに、「高齢者の人権が守られた安全で安心な暮らし

し」とはどのようなことなのでしょう。

いろいろ思い浮かぶと思いますが、「生きがいをもち続け、地域社会の中で積極的な役割を果たしていくことができる」「健康状態や環境条件にかかわらず、本人の意思が尊重される社会であること」「また、「医療や介護、生活面などで社会的支援や地域からの様々な形で支援、情報提供などが受けられ、住み慣れた自宅や地域の中で愛されて住み続けられる」など、これはひとつの例ですが、考え方は人それぞれ千差万別です。皆さんはどのようなことを思われたでしょうか。しばしばニュースで報道される高齢者の自殺、虐待やいじめ、孤独死などの現実問題を思い出された方もあると思います。

では、このような悲惨な事件を未然に防ぎ、高齢者の人権が尊重された社会を築いて

いくために、地域の中ではどのようなことが大切なのか考えてみたいと思います。

高齢者のための5つの原則

高齢者の人権の視点として、平成3年に国連総会で「高齢者のための国連原則」5つの原則：自立・参加・ケア・自己実現・尊厳）が採択されました。その内容はおおよそ次のとおりです。(紙面の制約上集約しています)

自立：教育や職業訓練への参加機会や仕事や収入手段への機会があり、衣食住などの日常生活で自立できること。安全な環境や、可能な限り自宅生活ができること。

参加：政策決定への積極的参加、若年世代と自己の経験や知識を分かち合う交流などへの参加、社会奉仕への参加や高齢者集会、運動への参加などの機会があること。

ケア：家族や地域から介護や保護が受けられること。病気の予防や健康管理のための医療を受ける機会があること。

どこに住んでいてもどんな状況でも自己の尊厳、信念、要求、プライバシーなどの基本的人権や自由を享受できること。自己の介護・生活の質を自ら決定する権利が尊重されること。

自己実現：社会の教育的・文化的・精神的・娯楽的施設などを利用して自己の可能性を発展させる機会があること。尊厳：尊厳と保障を持つて、肉体的・精神的虐待を受けず、年齢・性別・人種・民族的背景・障害などにかかわらず公平に扱われ、自己の経済的貢献に閉らず尊重されること。

以上が現在、広く国際人権規準として認識されています。地域で話し合いを

地域で話し合いを

では、私たちが住んでいる地域では、高齢者の人権についてどのような考え、話し合っているのでしょうか。話し合っている地域づくりを進めたいのか、まずは地域の実情に応じた課題をもとに話し合ってみることが最初ではないでしょうか。

一人で悩まず相談を

～子どもの人権特設相談所～

家族から暴力をふるわれたり、友達からいじめられたり、困っている子どもたちからの相談を受け付けます。一人で悩まないで相談してください。また、保護者からの相談も受け付けています。なお、相談は無料で、秘密は固く守られます。

日時 7月24日(木)、8月21日(木)午後1時～午後4時
場所 米子市明道公民館(米子市東町)
問合せ 鳥取地方法務局米子支局(電話 0859 22 6161)

そして、話し合いでは相手の立場や考え方を尊重する姿勢で、また、誰かのためにやっておけるのではなく、相手の意思決定を尊重する姿勢が大切です。

小地域座談会や自治会の会合などで、これからの自治会活動などをテーマとして、高齢者の地域生活について一度話し合ってみませんか。

おひさまひろば だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、親子で楽しく遊んでいます。毎回ボランティアの皆さんにもお世話になっています。

開設日 毎週水・金曜日 午前9時～午前11時
 金曜日は、参加者が親子で自由に利用いただける日です。(お茶は各自で用意してください)

8月の開催日

- 1日(金)
- 6日(水): 水遊び(水遊びができる準備をお願いします)
- 8日(金)
- 13日(水)・15日(金)はお盆休みです
- 20日(水): 町図書館からのおはなし会(午前9時45分～午前10時15分)
- 22日(金)
- 27日(水): 水遊び
- 29日(金)

これから暑くなります。紫外線予防をしっかりと帽子をかぶりましょう

6月は、外でたくさん遊びました。広い園庭でさわやかな川風を感じながらのブランコや自転車乗り、25日は11世帯23人の参加でとてもにぎやかでした。新しく参加される人もあり、おひさまひろばの仲間が増えてうれしいです。暑い夏!みんなで水遊びを楽しみましょう。皆さんお誘い合わせお越しく下さい。

連絡先 ひのっこ保育所(電話 72 0238)
 役場健康福祉課(電話 72 0334)



しゃぼん玉遊び
 大きいや小さいのがたくさん風に吹かれ、虹色に輝きながら空高く、遠くへ飛んでいきました。かーぜかーぜふくなくしゃぼんだまとばそー



七夕飾り
 優しい子に育ちますように、友達がいっぱいできますように、トイレが上手にできますように。お星さま、願いをかなえてくださいね。

平成20年度自衛官募集

区分	受付期間	一次試験および採用試験
2等陸・海・空士	年間を通じて行っています(採用試験)	
一般候補生	8月1日(金)～	9月20日(土)
航空学生	9月10日(水)	9月23日(火)
看護学生		10月25日(土)
防衛大学校学生	9月8日(月)～	11月15日(土)・16日(日)
防衛医科大学学生	9月30日(火)	
		11月1日(土)・2日(日)

自衛隊受験説明会を開きます

日時 8月3日(日)午前10時30分～午前11時30分
 場所 山村開発センター 小会議室
 参加費 無料
 問合せ 自衛隊米子地域事務所(電話 0859 33 2440)

こころの散歩道 日野町俳句同好会 選

歳月に灰のやせたる夏炉かな(講師)谷 悦子
 いつまでも部屋に居座る大西日 安達つる糸
 老鶯や隠岐まで届け海越えて 荒木 習子
 夫植えし牡丹吹くのを待ちかねし 梅林 春子
 み仏と菖蒲の香り分ち合い 勝瀬 京子
 萬緑に深く鎮もる観音堂 川上 文子
 大山の萬緑なだれ裾野まで 久城 霞溪
 控え目な光灯して初螢 徳本千鶴子
 薫風に真つ直ぐ乾くつなぎ服 眞壁富貴枝

(五十音順)

編集後記

先月末、根雨から舟場にかけてホテルを探してみました。板井原川にもたくさんいましたが、圧巻だったのは舟場から見た日野川のホテル。辺り一面ホテルの海というかカーテンというか。感動しました。ホテルが住んでいるのは川がきれいな証拠。この環境をいつまでも守りたいものですね(i)

6月届出分 (氏名) (年齢) (住所)
 木山 露子 91歳 門谷
 松原富美子 78歳 金持
 7月届出分
 坪倉 泰子 75歳 中菅

おくやみ
 ご冥福をお祈りします

6月届出分 (出生児) (保護者)(性別)(住所)
 池田 大志 仁紀寿菜男の子 板井原
 7月届出分
 大田 万葉 智広子男の子 下菅

赤ちゃん誕生

おめでとございます

届出 6月11日～7月10日 敬称略

6月30日現在

わたしの町

(前月比)
 人口 4,065人(-2)
 男性 1,906人(+1)
 女性 2,159人(-3)
 世帯 1,541戸(-3)

8月 ぐらしのカレンダー

AUGUST (葉月)



1 金	胃がん・肺がん・大腸がん検診 開発センター 対象地区：根雨6区、三谷1・2区、貝原、金持、野田（受付：午前8時～午前9時、胃がん検診を受けない人は午前9時～午前10時）	18 月	
2 土		19 火	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～
3 日		20 水	資源ごみの収集日（全町）
4 月	乳幼児相談 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分 ----- 健康相談 町公民館 午前9時～午前10時	21 木	
5 火	法律相談 開発センター 午後1時～ 申込み：町社会福祉協議会（74-0338）8月1日〆切 ----- 人権相談 開発センター 午後1時～午後3時	22 金	
6 水	行政相談 町公民館 午前9時～正午 ----- 不燃ごみの収集日（全町）	23 土	
7 木		24 日	
8 金		25 月	
9 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後1時～	26 火	
10 日		27 水	古紙の収集日（全町）
11 月		28 木	
12 火		29 金	特定健康診査【集団検診】補足日 午前＝町公民館（受付：午前8時30分～午前9時30分） 午後＝開発センター（受付：午後1時～午後2時）
13 水	発泡スチロール、乾電池、蛍光管の収集日（全町）	30 土	
14 木	可燃ごみの収集は休みます（くぬぎの森への持込みはできません。時間：午前8時30分～午後4時）	31 日	
15 金	黒坂納涼まつり 黒坂小学校グラウンド 午後6時～ ----- 可燃ごみの収集は休みます（くぬぎの森への持込みはできません。時間：午前8時30分～午後4時）	町県民税2期分、国民健康保険税2期分、介護保険料2期分、後期高齢者医療保険料2期分の納期限は 9月1日（月） です	
16 土		ミニギャラリー情報（町内の展示コーナーを紹介します） 山陰合同銀行根雨支店 「日野町墨彩会 墨彩展」～8月15日まで 「佐々木恭三さん 武者絵展」8月18日～9月19日 蔵美術館 「岡野三郎さん【春の大山】」～8月10日まで 県西部地震展示交流センター 「豪雨水害と土砂災害写真展」～8月27日まで	
17 日			

直	総務課	72 0331	企画政策課	72 0332	住民課	72 0333	出納室	72 2105
通	健康福祉課	72 0334	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	町公民館	74 0212
電	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
話	学校給食センター	72 1167	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	下榎集会所	72 1191
	役場代表番号（夜間・休日） 72 0331							

町長の定期便

第28回

ボランティア活動でまちがきれいに

町では、ふるさと納税制度を活用した「愛と元気の日野町ふるさと基金」を創設し、町に対するご寄付を募っています。6月から本格的にお願していたところ、早速に5人の皆さんから計70万円の申し出をいただきました。本当にありがたいことです。

皆さんのふるさとを思われる気持ちに敬意を表します。また、「日野町よ頑張ってください」との言葉もいただき、私の大きな励みとなりました。

我がまちでは、今ボランティア活動が盛んに行われています。最近私の関係したものを挙げますと、6月15日の黒坂カワコふれあい公園の清掃活動、6月21日と7月5日の滝山公園の草刈り活動、6月22日には上菅都合谷たたら街道整備活動と、7月には鶴の池マラソンコース整備活動など、毎週末には町のどこかで何らかのボランティア活動が行われています。郷土を大切にしたい、自分たちでできることは自分たちでとの気持ちはすばらしいことであり、ありがたいと思います。

これらの活動には町内の皆さんはもとより、日野総合事務所や役場職員も大勢参加しており、気持ち良い汗を流しました。滝山公園もこの秋には美しい紅葉を楽しむことができ、来春には桜の花や名物のツツジが見事に咲き誇ることでしょう。皆さん楽しみにしてください。これこそ日野町の誇りです。活動に参加された皆さん、ありがとうございました。（7月7日記）

日野町長 景山 享弘



暑い季節にぴったりの
お酢をきかせたピリ辛スープ

町食生活改善推進協議会さん料理 ⑤③ オススメ料理

スーラータン
野菜と豆腐の酢辣湯

【材料】4人分

- 豚肉薄切り(100g)
- しいたけ(2枚)
- 絹ごし豆腐(1/2丁)
- ごま油(小さじ2)
- A【グリーンアスパラ(2本)、絹さや(12枚)】
- B【酒(大さじ1.5)、豆板醤(小さじ1)】
- C【ガラスープの素(小さじ2)、水(600ml)】
- D【しょうゆ(小さじ2)、しょうが汁(大さじ1/2)、砂糖(小さじ1.5)、塩(少々)、こしょう(小さじ1/3)】
- E【酢(大さじ2)、ごま油(大さじ1/2)】
- 水溶き片栗粉【片栗粉(大さじ1.5)、水(大さじ1.5)】
- 卵(1個)
- 青ねぎ(2本)

【作り方】

- ①豚肉は1㍻の細切りに、しいたけは千切り、グリーンアスパラは斜め薄切り、豆腐は1㍻角に切る
- ②鍋にごま油を熱し豚肉をいため、しいたけを入れていためる。Bを加えいため、Cを入れ煮立ったら弱火にしてあくを取りながら10分ほど煮る
- ②にDを加え調味してAを入れ、煮えたら水溶き片栗粉でとろみをつけ、溶き卵を流し入れ、豆腐を入れてひと煮立ちしてEで味を調べ、小口切りの青ねぎを散らす



『どうだい、この肉体美。いやいやこの羽根美?』

撮影 木吉智美さん(広島県三次市)

【連絡先】 オシドリグループ事務局

森田(電話72 0271)

「ヒナを連れたオシドリがいたよ。とっても可愛かった」「うちの田んぼに2羽来とつたに」うれしいニュースが次々と届きました。北帰行せず残ったオシドリはわずか。そのオシドリに会えるなんてラッキーな方です。日野町は誰もが認める「オシドリの住むまち」。すばらしいまちです。

オシドリ
にやぶす
VOL. 125

